

コミュニティを中心とした地域運営体制づくり に関する研修会を開催しました！

- 東海市では、コミュニティを中心とした地域運営体制づくりの推進に向けて機運を高めるために、コミュニティ関係者を対象とした研修会を令和4年7月18日（月・祝）に東海市立市民活動センター大会議室で開催し66名の参加がありました。
- 講師として、四日市大学の岩崎恭典学長をお招きし、「アフターコロナに対応した持続可能な新しいコミュニティのあり方」について基調講演をしていただきました。
- 基調講演後には、モデレータとしてお招きした日本福祉大学 国際福祉開発学部の吉村輝彦教授と岩崎学長が「東海市におけるこれからの地域運営のあり方」について意見交換を行いました。

（1） 基調講演「アフターコロナに対応した持続可能な新しいコミュニティのあり方」

- 岩崎学長からは、「私たちが歩む人口減少は世界のどこを見ても例がない」世界を歩んでおり、今後は、これまで行政が行ってきたサービスの中でも、「生活支援や介護予防等は地域（住民）でやっていった方が良いのではないかと投げかけられました。
- また、「小中高生等子どもが地域を支えることを考える教育の仕組みを地域でつくっていく方が良いのではないかと話され、若者が地域に関わることの重要性や、今後、地域を担う子育て世代の人の「得意分野を活かした仕組みづくり」や、「地域活動をする人に賃金が払える仕組みづくり」が必要であるとも話されました。



（2） 意見交換「東海市におけるこれからの地域運営のあり方」



- 岩崎学長と吉村教授の意見交換の中では「特に、楽しく地域活動をできること」が重要であるという点が共通していました。
- また、この3年間はコロナで面識社会（人と人とが顔を合わせられる）ができていないので、面識社会を取り戻していく必要があるとのお話もありました。

（3） 参加者同士の意見交換

- 本研修会では、市内の12コミュニティから関係者が参加していることもあり、コミュニティ活動等について意見交換をする時間を設けました。
- 参加者からは、「地域活動を楽しむことが大切」、「埋もれている人材発掘が大切」という声があがっていました。



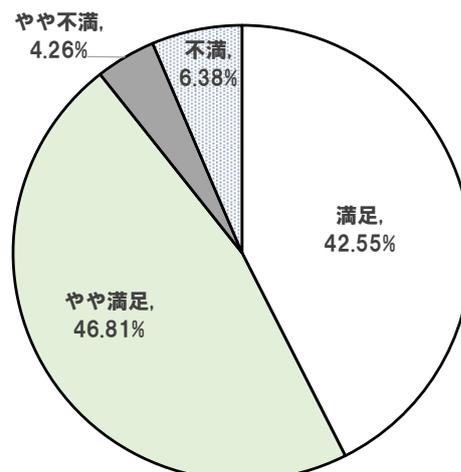
参加者アンケートのまとめ

Q1 研修会の満足度

- 回答者 47 人のうち約 43% (20 人) が「満足」、約 47% (22 人) が「やや満足」と答えており、約 9 割の回答者が研修会の内容を評価しています。
- 一方で、「不満」は約 6.4% (3 人)、「やや不満」は約 4.3% (2 人) となっています。

■「満足」と「やや満足」の主な理由

- 岩崎学長の時代変化や人口変化の話は分かりやすく、これからのコミュニティの方向性などの参考になった (9 件)
- 人口減少社会におけるコミュニティ活動を実践するためのヒントなどが得られた (4 件)
- 他のコミュニティ関係者の話を聞ける機会が得られて、とても良かった (3 件)



Q2 研修会を通じて、とくに学んだこと、印象に残ったこと

- 地域活動は楽しんで行うものであること (8 件)
- 地域活動への青少年の参加や、議論の場に若い世代を入れて意見を聞くこと (6 件)
- 人口減少時代に対応した仕組みなどを考えることが重要であること (5 件)
- 地域住民の得意技を発掘し、適材適所で活用することが重要であること (4 件)
- コミュニケーションや人と人とが顔を合わせられる面識社会が重要であること (3 件)

Q3 研修会の運営について、気になったこと、わかりにくかったこと、十分に発言しきれなかったこと

- グループのメンバーの間隔が遠く、声が聞こえにくかった
- グループ対話の時間がもう少し長ければ良かった
- 他のコミュニティ関係者のお話や苦労されていることなど、もう少し内容を深めることができると良かった
- 働いている世代のうち特に若い世代 (20~30 代) をどのように地域活動に取り込んでいくかという点について掘り下げてほしかった
- 今の小学生、中学生、高齢者 (特に男性) のニーズを知りたかった

Q4 今後の研修会のテーマや内容

- 若い世代が地域活動へ参加してもらえるような取組み
- 高齢者との意見交換の場
- コミュニティへの集客方法の見直し
- コミュニティの中で得意分野を他人に教えるための方法
- 各世代間の地域スタッフ (子どもたちを参加させる) の話の実践例
- 課題の解決に向けた具体的な対応・行動を市担当者とする研修会

Q5 今後のコミュニティの運営について

- LINE やホームページについてコミュニティ、町内会・自治会では、運営・利用がしにくい
- コロナ後の再スタートをどのようにしていくかが非常に悩ましい
- 他のコミュニティと合同イベントを実施してみたい
- 子育ての終わった女性や若い人 (小中高生) の参加が重要である
- 今後の話し合いで、各コミュニティの活動に沿った話ができることが楽しみである

※各回答の内容については、一部抜粋・加工をしています。